

## 大分大学体育会「由布会」とは

第二代由布会会長  
木 許 健  
(大分大学経済学部 24 期生)

大分大学体育会は学園紛争最中の昭和 45 年、経済、教育両学部の体育クラブ所属の学生を会員とし、宗教や思想に関係なく純粋にスポーツを愛する学生達の自治組織として各学部自治会から分離独立して設立されました。

「由布会」は体育会会員である各運動部に OB 会設立を促す目的で、体育会本部役員の OB 会として昭和 51 年 1 月 1 日に創立され同年 1 月 4 日に発会式を行っています。以来、本部役員は現在まで 50 代を数え、「由布会」会員は 634 名に及びます。スポーツこそ国境、人種を越え、人と人との絆を結び、感動を広げることが出来るとの信念のもと、現役役員は「分大にスポーツの嵐を!!」をスローガンに掲げ、また「由布会」会員諸兄もこの体育会の信念を忘れず、全国各地、各職場で日々活動を続けていることと思います。

今年は、大分市でラグビーワールドカップが開催され、また来年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。まさに日本中にスポーツの嵐が強く吹くことでしょう。そして来年はまた体育会設立 50 周年の節目の年を迎えます。

これを機に、「由布会」として学部横断の自治組織としての大分大学体育会をより強くバックアップできれば、母校の大分大学の発展、充実に少しでもお役に立てるのではないかと思います。

平成 31 年 4 月 1 日



平成 12 年 体育会本部創立 30 周年記念